

## 日本骨髄バンクを介した骨髄移植が1万例に到達、 さい帯血バンクを介したさい帯血移植も5千例に到達

財団法人骨髄移植推進財団  
理事長 正岡 徹

日本さい帯血バンクネットワーク  
会長 中林 正雄

平成20年12月3日、骨髄バンクを介した骨髄移植数が1万例に到達しました。  
また、さい帯血バンクを介したさい帯血移植数は、平成20年12月2日に5千例に到達  
しています。両バンクを通じて、合わせて1万5千人もの方が移植を受け、生きるチャンス  
が広がりました。

前日12月2日(火)までの非血縁者間骨髄移植数は9,998例で、12月3日(水)  
には5例が実施されたことから骨髄移植は1万例に到達しました。

さい帯血移植は、12月2日(火)に5千例に到達しています。

こうした成果は、善意の骨髄提供者および妊婦のみなさまをはじめ、医療関係者その他  
ご協力いただいたすべてのみなさまのご尽力の賜物です。これら関係者のみなさまに心から  
感謝申し上げます。

その一方で、移植を受けることができない患者さんもまだ多くいらっしゃいます。骨髄移  
植やさい帯血移植を必要とする患者さんが、必要な時期に必要な移植を受けられるよう、一  
人でも多くの方々に骨髄バンク及びさい帯血バンクを知っていただき、ご協力をいただけま  
すことをお願い申し上げます。

本件に関するお問い合わせ：財団法人 骨髄移植推進財団 担当：大久保・千葉  
(電話)代表：03-5280-8111  
日本さい帯血バンクネットワーク 担当：鈴木・渡邊  
(電話)代表：03-5777-2429

骨髄移植は1970年代に確立され、日本では1980年から血縁のドナーから実施されるようになりました。骨髄移植を行うためにはHLA型(白血球の型)の一致が不可欠ですが、HLA型が一番合いやすい兄弟姉妹では4分の1、他人では数百~数万分の一でしか一致しません。そのため、提供者を見出せない患者さんやご家族から、善意の骨髄提供者からの移植を仲介する骨髄バンク設立の要望が高まり、1991年12月、公的骨髄バンクである骨髄移植推進財団(東京都千代田区、現理事長:正岡徹)が設立されました。

一方、さい帯にも骨髄同様の造血機能がある細胞が多く含まれていることが分かり、1994年に国内初のさい帯血移植が行われ、1995年には神奈川さい帯血バンクが設立されました。2001年、当時国内にあった9つのバンクは「さい帯血バンクネットワーク」(東京都港区、現会長:中林正雄)として運営されることになり、現在は11のバンクが事業に参画しています。骨髄移植もさい帯血移植も造血幹細胞の移植であり、両バンクは白血病などの血液疾患の患者の救命のため、それぞれ事業を行っています。

骨髄バンクによる最初の非血縁者間骨髄移植が実施された1993年1月から約16年の年月を経て今年、骨髄移植は1万例に達し、さい帯血バンクでは1997年2月の実施から12年目にあたる本年5千例に到達いたしました。

これにより、両バンクを通じこれまでに1万5千人もの患者さんが生きるチャンスへつなげることができました。これまでに骨髄及びさい帯血をご提供いただいた皆様をはじめ、ご協力いただきました全ての関係者の皆様のご協力に心から感謝申し上げます。

なお、骨髄バンクでは、現在検討が進められている末梢血幹細胞移植の導入につきまして、関係機関と十分な連携を取り、その検討の進捗に応じ、速やかに必要な対応を取っていきたいと考えております。また、より一層のコーディネート期間の短縮やドナー安全対策の強化、国際協力などに今後とも努めてまいりたいと考えております。

一方、さい帯血移植では、5年間で2万個の保存公開数を達成したものの、依然として細胞数のより多いさい帯血の確保に努めております。

2008年11月末のさい帯血保存公開数は、30,845個、移植数は、4,997例を達成しております。

来年2月に第31回日本造血細胞移植学会が実施されますが、その中で『骨髄移植1万例、さい帯血移植5千例記念講演会』を下記のとおり実施いたします。

お時間のございます方は、お越しくださいますよう、ご案内申し上げます。

日時:平成21年2月6日(金) 18時30分~20時

場所:札幌市教育文化会館小ホール

参考	骨髄バンクの現状	さい帯血ネットワークの現状
	ドナー登録者現在数 326,776人	さい帯血保存公開数 30,845個
	患者登録現在数 2,360人	さい帯血移植数 4,997例
	(平成20年11月現在)	(平成20年11月現在)

本件に関するお問い合わせ:財団法人 骨髄移植推進財団 担当:大久保・千葉  
(電話)代表:03-5280-8111  
日本さい帯血バンクネットワーク 担当:鈴木・渡邊  
(電話)代表:03-5777-2429

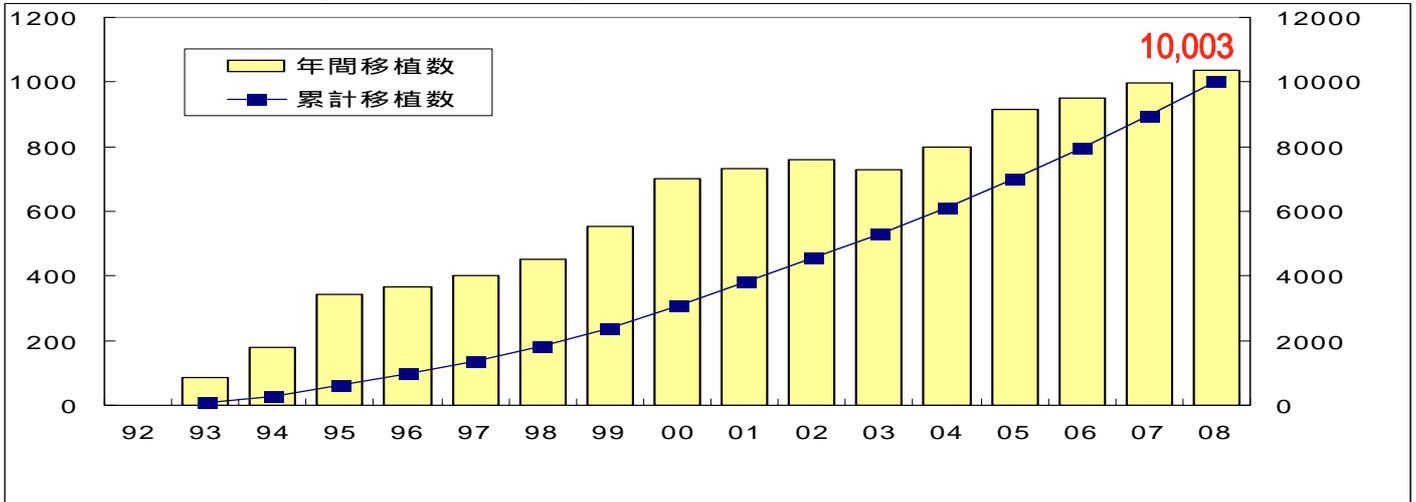
## 日本骨髄バンクのあゆみ

平成3年	12月	骨髄移植推進財団設立(18日)
平成4年	1月	日本赤十字社「骨髄データセンター」設置 ドナー登録の受付開始
	6月	患者登録の受付開始
	9月	コーディネート開始
平成5年	1月	日本骨髄バンクによる初の骨髄移植を実施(28日)
平成6年	2月	骨髄移植例数100例
	5月	ドナー登録者数5万人到達
	10月	全国の保健所でドナー登録受付を開始
平成9年	1月	骨髄移植数1000例(29日)
	4月	ドナー登録時に1次、2次検査(HLA-A座、B座、DR座検査)を同時実施 日本骨髄バンクとNMDP(米国骨髄バンク)が提携(国際ドナー検索契約) TCTMDR(台湾骨髄バンク)とも試験的提携を開始
	9月	国際協力による骨髄移植第1例の実施(NMDPから)
平成10年	4月	BMDW(世界骨髄バンクHLA型種類別データ集計システム)に参加 HLA照合サービス開始
	6月	TCTMDR(台湾骨髄バンク)から初の骨髄提供
	8月	ドナー登録者数10万人到達(13日)
	10月	韓国に骨髄提供第1例
平成11年	1月	HLA一部不適合移植、年齢拡大など移植希望患者の適応拡大
	5月	日本骨髄バンクによる骨髄移植2000例(13日) KMDP(韓国骨髄バンク)と仮提携締結による相互検索サービスを開始
	10月	東海村での被曝事故患者への緊急コーディネート開始
平成12年	3月	KMDPから初の骨髄提供
	5月	NMDPと提携後、初の骨髄提供
	6月	厚生省「骨髄提供希望者確保事業」実施要綱の改正通知 (ドナー登録会の実施要綱改訂)
	11月	骨髄移植数3000例(16日)
平成13年	1月	コーディネートのコンピューターシステム本格稼働
	8月	移動献血会場でのドナー登録受付、全国展開へ
	9月	米国同時多発テロにより、NMDPからの骨髄搬送にチャーター機利用
平成14年	2月	ドナー登録者数15万人到達
	3月	骨髄移植数4000例(27日)
	4月	患者救済に資する事業募金を開始
	7月	緊急コーディネートを制度化
平成15年	8月	骨髄移植数5000例(1日)
平成16年	11月	骨髄移植数6000例(17日) ドナー登録者数20万人到達(25日)
平成17年	3月	ドナー登録要件緩和(下限年齢18歳以上、登録時の家族の同意不要など)
	9月	ドナー登録要件の上限年齢が「登録54歳まで・提供55歳まで」に引き上げ
	12月	骨髄移植数7000例(15日)
平成18年	2月	日本骨髄バンクと日本さい帯血バンクネットワークの移植累計総数が1万例到達(22日)
	6月	ドナー登録者数25万人到達
平成19年	1月	骨髄移植数8000例(24日)
	9月	中国骨髄バンク(CMDP)と提携
平成20年	1月	ドナー登録者数30万人到達(15日)
	1月	骨髄移植数9000例(24日)
	12月	骨髄移植数10000例(3日)

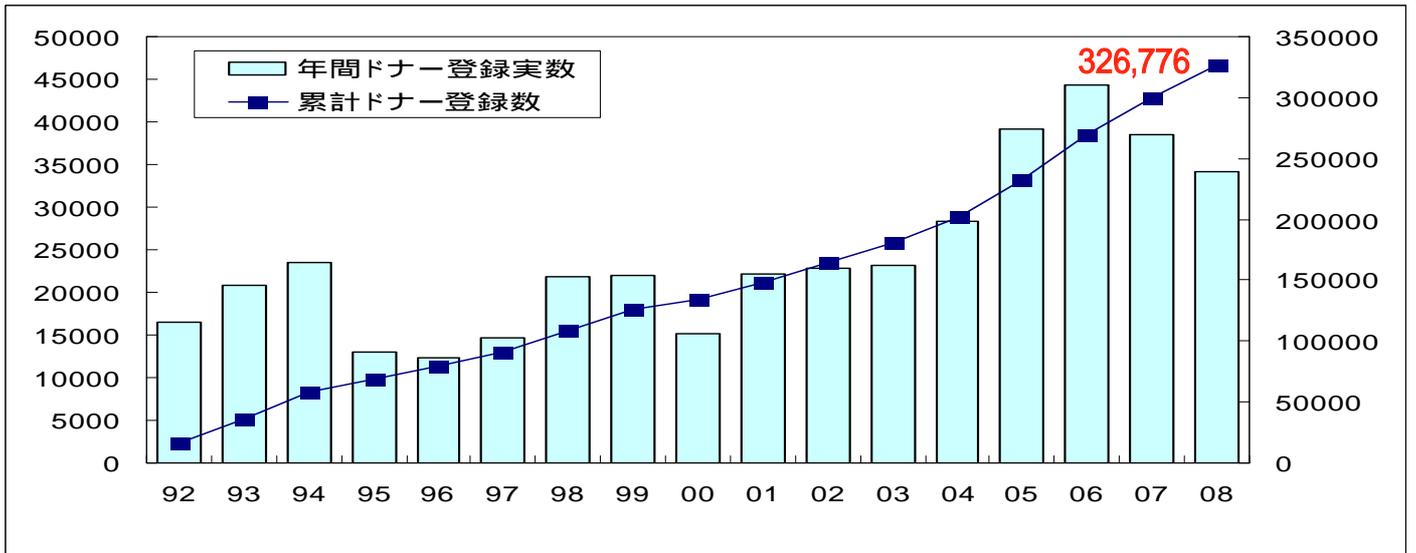
## プレスリリース

平成20(2008)年12月4日発信 骨髓移植推進財団

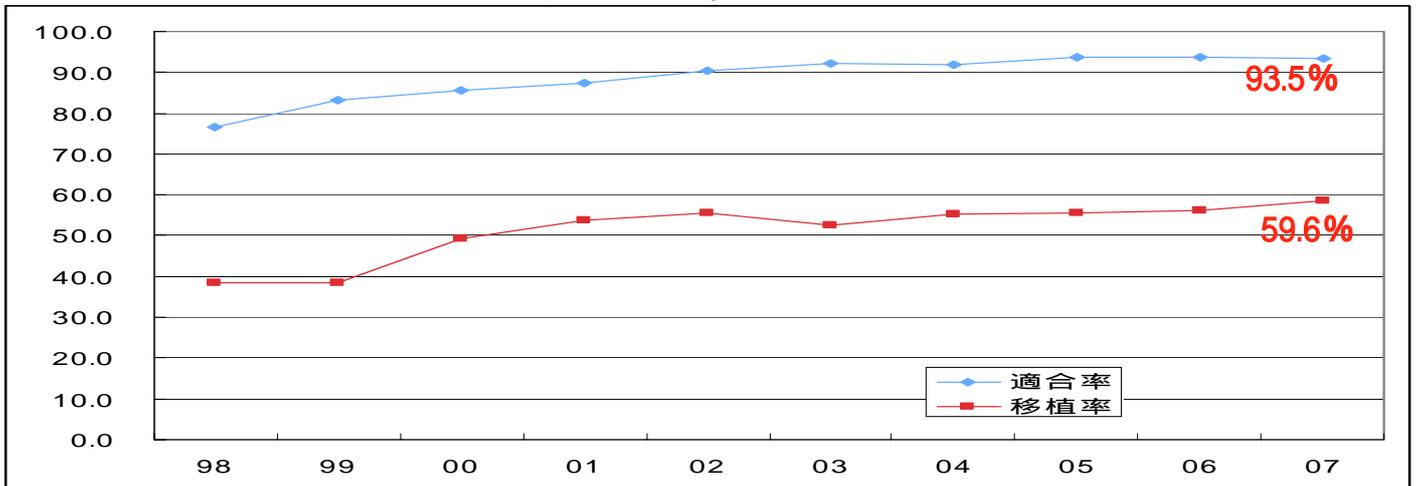
### 骨髓移植数推移 (08年12月3日現在)



### ドナー登録者数推移 (08年11月末時点)



### 国内患者のHLA適合率と移植率 (07年末時点)



本件に関するお問い合わせ：財団法人 骨髓移植推進財団 担当：大久保・千葉  
(電話)代表：03-5280-8111

## さい帯血移植のあゆみ

わが国で第1例目の非血縁者間さい帯血移植

1997年2月、横浜市立大学付属病院小児科（提供：神奈川臍帯血バンク）

わが国の年度別非血縁者間さい帯血移植例数（各年度は4月1日から翌年3月末まで）

年度別	症例数	累計数
1996年度	1例	1例
1997年度	19例	20例
1998年度	77例	97例
1999年度	114例	211例
2000年度	169例	380例
2001年度	220例	600例
2002年度	296例	896例
2003年度	693例	1589例
2004年度	676例	2265例
2005年度	658例	2923例
2006年度	734例	3657例
2007年度	762例	4419例
2008年度	583例	5002例【2008年（平成20年）12月2日現在】

### 参考

500例目：2001年10月23日

1000例目：2003年6月12日

2000例目：2004年11月4日

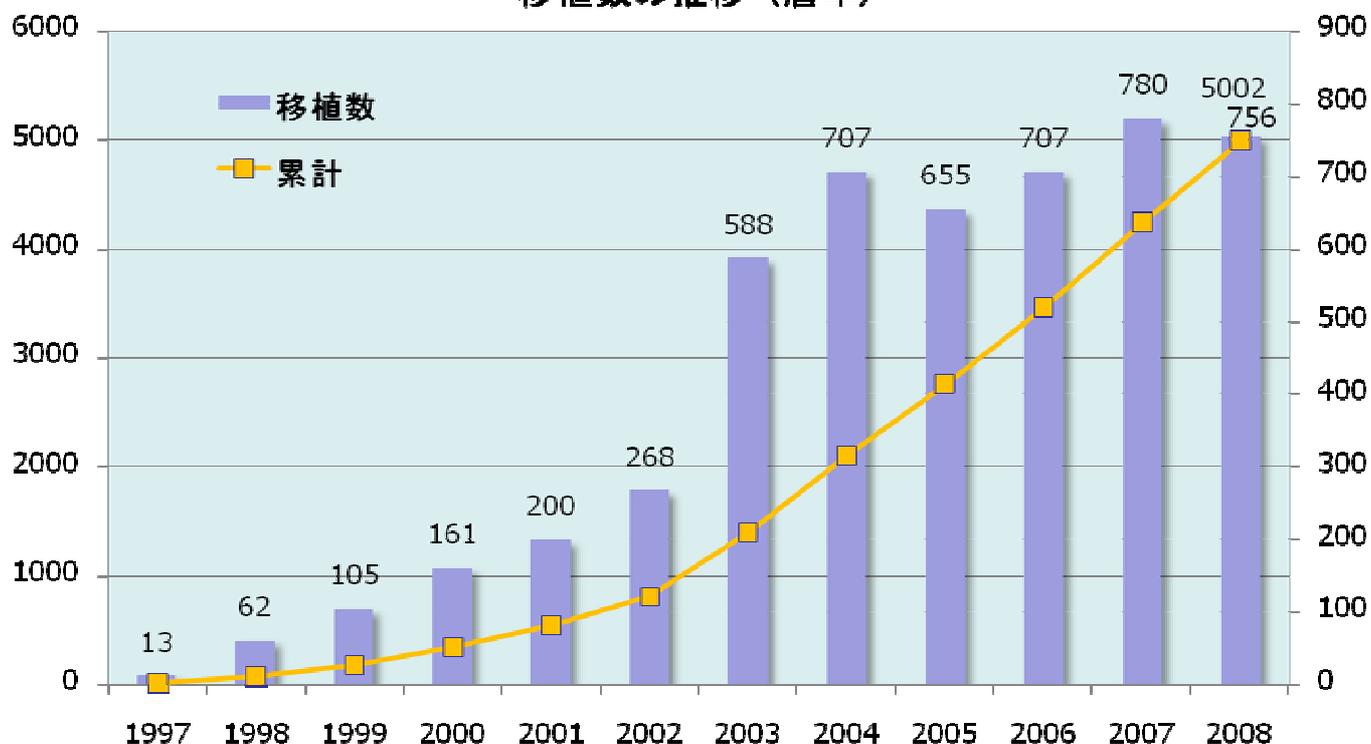
3000例目：2006年5月

4000例目：2007年8月

5000例目：2008年12月2日

## さい帯血移植数のあゆみ

### 移植数の推移（暦年）



### 移植数の推移（年度）



本件に関するお問い合わせ：日本さい帯血バンクネットワーク 担当：鈴木・渡邊  
 (電話) 代表：03-5777-2429